

西小だより 春夏秋冬あっちこち

第16号
平成29年7月18日
桐生市小曾根町1-9
桐生市立西小学校

もしも、不意に水の中に落ちてしまったら 着衣泳を学習

もしも川や海などに落ちてしまったらどうするか。海上保安庁HPの「着衣水泳指導」を見ると、真っ先にこう書いてありました。やってはいけないこと①服や靴を脱ぐこと。②助けを呼ぼうとして、声を出したり、手を振ったりすること。③岸に向かって泳ごうとすること。

その理由は、①何かにぶつかったときにけがをすることと体温低下を防ぐためであり、うまく空気を入れて使えば浮き袋代わりになること。②声を出すと肺の空気が抜けて沈みやすくなり、濡れた衣服は重くなるため、体を動かすと酸素が必要となり、ますます息が苦しくなること。③衣服を身につけていると、大変泳ぎづらくなるため、相当な泳力があっても体力の無駄遣いになること。

では、どうすればよいのでしょうか。浮かび続けて救助を待つことです。人間は、肺という浮き袋を持っています。仰向け(空を見上げて)で手足を広げて力を抜くと、必ず口と鼻が水の上に出ます(「背浮き」と言います)。ということは、大きな波をかぶらない限り、息ができるということです。川なら、流れに逆らわず足を下流に向けて流されることです。流されていくうちに、岸に近づくことも多いそうです。また、何か浮いている物があつたら、それに捕まることです。ただ、「落ちた」といってパニックにならず、まずは、足が着くかどうか深さを確かめてみるのが、最初です。足が着けば歩いて岸にのぼれます。というようなことを学ぶのが、「着衣泳」です。

では、川遊びなどで溺れてしまった人がいたら?。助けようと自分が入るのが最も危険です。シタバタせず落ち着くように声をかける。足が着く深さどうか確かめさせる。そばにペットボトルや木ぎれなどがあれば投げ入れて捕まらせる。などです。ペットボトルは、空のものより少し水が入っていた方が重さが加わって投げやすくなります。また、ぐるぐる回して水流を起こすと中身を流しやすくなるということも覚えておくといいと思います。

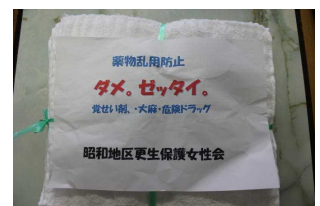
写真上は、ペットボトルに身を任せて「ラッコ浮き」をしているところ、下は、手足を広げて「背浮き」をしているところです。夏休みに川や海や湖で遊ぶ機会もあると思います。危険がないように十分に気を付けることはもちろんですが、もしもの時には、「着衣泳」で習ったことを思いだしてください。世の中に《絶対》はないのですが、絶対にあってはなりません。



今年もいただきました

「社会を明るくする運動」に合わせて、西地区昭和地区の更正保護女性会の皆様から雑巾をいただきました。ありがとうございました。

すみずみ輝くそうじと片付け(心)を磨く



3年生 八木節を学ぶ

今年も、桐生市の出前講座で「桐生市役所八木節愛好会」と「桐雅会」の皆様にお越しいただき、八木節を学びました。八木節と言えば桐生。桐生と言えば八木節。と思い浮かぶくらい定着している、桐生の代名詞とも言える踊りです。「桐生を好きな子供」を育てる基本中の基本となるものと言っても過言ではないでしょう。

演奏と踊りを披露していただいた後は、実際に太鼓や鼓、鉦を叩いたり、花笠の回し方を習ったり、実物に触れることで、ますます興味が湧いた様子でした。最後は、全員で一緒に踊って終了しました。運動会の前には、3年生が1年生に「八木節踊り」の指導にいきます。足さばきや手さばきが上手く教えられるでしょうか。8月の『桐生八木節祭り』の踊りの輪の中に入って、一緒に踊って来るのもいいことでしょう。練習が大事です。



今年も、運動会午前の部の最後に予定しています。

八木節踊れば桐生人。
皆さんと一緒に楽しみ
ましょう！



続 メディア講習会 7/6(木)

第1回PTA家庭教育学級で、桐生警察署生活安全課から講師を招き「少年を取り巻くスマホ・ネットの実態」についての講話を聞きました。今回は大人が対象ということで、スマホやネットがはらむ危険性を、実際の事例をもとに学ぶことができました。保護者の皆様に徹底してほしいことは、第11号(6/27)でもお伝えした『おぜのかみさま』だそうです。

昨年度、生徒指導関係の研修会でいただいた資料に、こんな話が載っていました。ある中学校の学年通信の記事です。



中学生に携帯電話を持たせるのは、中学生にオートバイを買い与えるようなものです。なぜ法律で「中学生はオートバイの免許が取れない」と決めてあるのか。それは、子供にはまだコントロールする力がないからです。運転させれば、子供を危険な目に遭わせてしまうからです。携帯電話も同じだと考えるべきです。子供にはコントロールする力が、十分には身についていません。ですから、ちょっとしたことで暴走してしまいます。その結果、トラブルや犯罪に巻き込まれてしまう。買い与えている保護者が、子供を危険な目に遭わせるかもしれないことをもっと認識してほしいのです。

スマホはネットに直結しています。ゲーム機もネットに繋がるものもあります。単なる玩具とは少し違います。安易に使わせてはいませんか。危険性は認識されていますか。

2年2組 学級担任の交代についてのお知らせ

4月1日から育休補助として勤務している大澤愛莉教諭が、7月31日で本校での勤務を終了し、8月1日から茂呂由希枝教諭が復帰します。1学期の4か月間だけでしたが、保護者の皆様からの温かいご支援をいただきながら、しっかり児童の心をつかみ、適切な指導を続けられました。ありがとうございました。茂呂教諭は、夏休みのプール当番や学習相談から子供たちと係わり始め、2学期から本格勤務となります。どうぞよろしく願いいたします。大澤教諭は、広沢小へ異動します。